

# 苫小牧民報

3月24日

木曜日

発行所 苫小牧民報社 〒053-8611 苫小牧市若草町3丁目1番8号 代表電話 0144(32)5311

月決め購読料(税込み)2,440円(1部120円)



市民ホール建設検討委員会の今年度最終会合

## 基本構想 今月末までに正式決定

### 市民ホール建設検討委

今年度最終会合

老朽化した苫小牧市民会館

の建て替えに伴う、新たな複

合施設の在り方を議論する市

民ホール(仮称)建設検討委

員会(委員長・森傑北大大学

院工学研究院教授)は23日、

市役所で11回目の会合を開い

た。

今年度の最終会合で、事務

局の市は市民ホール基本構想

案について、意見公募(2月

22日～3月22日)した結果、

9人から意見が寄せられたと

報告。その上で、検討委で話

し合ってきた内容や今後、基本計画で検討することになっている建設地や規模に関する

提案などだったため、特段の修正は加えない考えを説明した。委員から反対意見は無く、

基本構想は今月末までに正式決定する見通しだ。

基本構想案では、メインテ

ームを「親近感と愛着を持つ

る憩いのプラザ(公共の広

場)」と設定。複合施設に求められる基本的な機能を示している。

市は2016年度から2カ

年かけて基本計画を策定する

計画で、「活動」「鑑賞」「展

示」「窓口」の三つのワーキング

グループ(作業部会)を設置。各

各部会には検討委メンバーも

入り、建設地や複合する施設

機能や規模などの議論を本格

化させる。新年度は市民向けのシンポジウムやアンケート調査も行う予定だ。

市民ホール基本計画  
新年度から策定着手

建設検討委が会合

苫小牧市の新たな複合公  
共施設のあり方を話し合う

市民ホール建設検討委員会の本年度最後となる第11回会合が23日、市役所であった。市は新年度から基本計画づくりに着手し、観賞、活動、展示・窓口の三つのワーキンググループ(作業部会)を立ち上げ、具体的に検討する。

会合では、市が検討委の議論を踏まえてまとめた基本構想案について、1カ月間のパブリックコメント(意見公募)を行った結果9件の意見が寄せられたと報告。建設地や規模に関する要望のほか、市民主体の議論を求める声などがあつたが、今後検討する計画案で定める事項や検討委で話し合われた内容だったとして、市は各意見を構想には

直接反映しないとした。

市は基本構想を3月末までに正式に決める。新年度は基本計画の参考とするため、市民アンケートや先進事例を考えるシンポジウムを行う予定。(細川智子)